

起 案 用 紙

決 裁 区 分	甲	乙	丙	丁	文書番号	保 存 年 数	1・3・5・10・30
件 名	平成17年度まちづくり交付金新規要望地区の追加調書について					(回答)	主務課 都市計画係
あて名	熊本県土木部都市計画課長				発信者名	課 長	
市 長 助 役 部 長 課 長						合 議	施 工 方 法
						供 覧	<input type="checkbox"/> 親 展 <input type="checkbox"/> 書 留 <input type="checkbox"/> 速 達 <input type="checkbox"/> 小 包 <input type="checkbox"/> 使 送 <input type="checkbox"/> 手 交
						浄 書	送 送
起案者	土 黒 正 平		決 裁	平成 17 年 1 月 6 日			
	平成 17 年 1 月 6 日		発 送	平成 17 年 1 月 6 日			
平成17年1月5日付けで依頼のありましたこのことにつきましては、別紙のとおり回答してよろしいか伺います。							
記							
追加提出調書							
・事業効果分析シート							
・客観的評価基準の確認シート							
・目標、数値指標と事業間の関係シート							

○事業効果の分析について

選択欄 (該当するものに○)	事業効果の分析方法	分析結果		
		総事業費/世帯 (円)	賛同率 (%)	
	① 1世帯あたりの事業費を示し、住民の賛同を把握した。			
	② 事業全体の便益をCVM法を用い把握した。	便益(B) (百万円)	費用(C) (百万円)	費用便益比 (B/C) ※1
○	③ その他の方法 (個別事業単位でのB/C) で把握した。	※下表に記入のこと。		
	④ 交付対象事業費が10億円未満。			

③その他の方法 (個別事業単位でのB/C) の場合

事業区分	施設名 (箇所名/路線名など)	事業費 (百万円)	費用便益分析の実施状況 (該当するものに○) ※2				便益(B) (百万円)	費用(C) (百万円)	費用便益比 (B/C) ※1 ※3
			継続事業の場合		新規事業の場合				
			A	B	C	D			
地域生活 基盤施設	情報板	27				○	27	27	1.00
高質空間 形成施設	街路・細街路	237				○	237	237	1.00
	城山公園	143				○	281	143	1.97
高次都市 施設	天草切支丹館	799				○	799	799	1.00
既存建造 物活用事 業	天草でんしょう館 (仮称)	265				○	265	265	1.00
	天草交流プラザ (仮称)	580				○	580	580	1.00
合 計		2,051					2,189	2,051	1.07

注) ※1 費用便益比は四捨五入により小数点以下第2位まで記入

※2及び※3の記入要領

ケース	※2の該当区分	※3への記入方法
A	事業が継続事業で、費用便益分析を実施済みのもの。	費用便益比(値)を記入
B	事業が継続事業で、事業評価制度導入前の採択のため、費用便益分析を実施していないもの(ただし再評価の実施要件に該当していないもの)。	「1.00」を記入
C	事業が新規事業で、それぞれの事業毎の既往の方法により費用便益分析を実施したもの。	費用便益比(値)を記入
D	費用便益分析手法が開発されていないため、費用便益分析を実施しないもの。	「1.00」を記入

○民間投資等による波及効果について

事業名	事業箇所名	事業主体	全体事業費 (百万円)	規模	確認の方法

まちづくり交付金の客観的評価基準の確認シート

都道府県名	市町村名	地区名
熊本県	本渡市	本渡中央北地区

I. 目標の妥当性

①都市再生基本方針との適合等	チェック欄
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 (該当するものに○) ① 中心市街地活性化 2. 防災 3. 少子高齢化 4. 人口定着 ⑤ 観光・交流 ⑥ アメニティ 7. 交通利便性 8. 都市活力 ⑨ 地域コミュニティ 10. その他	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 (該当するものに○) ① 市町村総合計画 2. 都道府県長期計画 3. 都市再生緊急整備地域 4. 構造改革特別区域 ⑤ 地域再生計画 6. 全国都市再生モデル調査 7. 被災市街地 ⑧ 中心市街地活性化計画 9. その他	○
②地域の課題への対応	チェック欄
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	チェック欄
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	チェック欄
1) 十分な事業効果が確認されている	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

III. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	チェック欄
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑦円滑な事業執行の環境	チェック欄
1) 計画の具体性など、事業の熱度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

【記入要領】

- ・都市再生整備計画の記載内容が、確認シートの各項目に該当する場合は、チェック欄に○を記入する。
- ・(該当するものに○)の項目は、都市再生整備計画の記載内容が該当する項目の番号を○で囲む。

まちづくりの目標、数値指標と事業間の関係シート（案）

地方整備局名	市町村名	地区名
九州	本渡市	本渡中央北地区

目標0（単一目標又は大目標）：天草ほんどの歴史や文化を感じるまちづくり		
小目標1：天草ほんどの観光資源を活かし、観光の拠点地域としての魅力を高め観光客の誘致などにより交流人口の増加を図る。	小目標2：駐車場の整備や施設を連携する快適・安心・安全な歩行空間形成により回遊性のある一体的な滞在空間を創造し、来街者の利便性の向上を図る。	小目標3：天草ほんどの歴史や文化・伝統を発信する観光ガイドを育成し、来街者との交流を促進し地域の活性化を図る。

目標の番号	整備方針（注1）	(注3) 事業名・箇所名 指標（注4）	（対応する目標の番号）				
			1, 2	1, 2, 3	3	指標4：	指標5：
			指標1： 「交流施設 利用者数」	指標2： 「観光入込 客数」	指標3： 「観光ボラ ンティア数」		
1	整備方針1： 歴史や文化、観光資源を活かした観光拠点づくり	(基幹事業)					
		地域生活基盤施設（情報板）整備	○	○	×		
2	整備方針2： 快適で回遊性のある歩行空間の形成	高質空間形成施設（街路・細街路高質化、公園）	△	○	×		
		高次都市施設（観光交流センター）	○	○	△		
		既存建造物活用事業 （地域交流センター）	○	○	△		
3	整備方針3： 観光ボランティアの育成	(提案事業)					
		地域創造支援事業 （駐車場整備・文化財調査）	○	○	×		
		まちづくり活動推進事業 （観光ボランティア育成等）	○	○	○		